

平成 28 年 5 月 23 日

久宗

現場からの問題点

- ・ 漁業で常時作業用救命衣を着用しているが、船舶検査の為だけに救命胴衣を載せている。(コストの増加)
- ・ アワビ漁などでウェットスーツを着ている場合でも、ライフジャケットを着用しなければいけないのか
- ・ テレビに映る操業風景 漁師がライフジャケットを着用しない
→ マスコミに対して要請すべき (シートベルトをしていない車の運転と一緒に)

考えられる施策

- ・ ポスターの配布、パンフレットだけでは周知に止まる
- ・ 自分たちで意識して活動が必要

WIB 船員向け自主改善活動

- ・ 良い事例を参考に、全員が参加して、できることから改善を進めていく
当然、ライフジャケットの着用も含まれる

水産庁

水産庁補助事業「安全な漁業労働環境確保事業」講習会、

→労働環境のカイゼンや海難の未然防止などの知識を持った「安全推進員」を養成。

国土交通省

第 10 次 船員災害防止基本計画 事業

WIB 自主改善活動指導員養成

→安全と改善についての意識を持ってもらう (積極的な活用)

労働安全衛生マネジメントシステム (2001 年 ILO 条約)

厚生労働省 労働安全衛生マネジメントシステム

国土交通省 船内安全衛生マネジメントシステム

船に対応しているもの→WIB 式船内労働安全衛生マネジメントシステム

船内向けの労働安全衛生マネジメントシステム 簡便、低コスト、効果がある

商船、漁船で実績あり、会社、漁協、マリーナ単位での拡大

一般社団法人 自主改善活動の認証システム

いかの塩辛 ライフジャケット着用キャンペーンの一例 久宗 作

い いつも

か 必ず

の 乗る時には

し しっかり着けて

お お互いに

か 確認しましょう

ら ライフジャケット

パンフレットともに塩辛を配ったら、インパクトがある。